

2018年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(あかとんぼ土浮)

回収数/配布数 :8/9

回収率 :89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	87%	13%		利用者が多い日は活動が一箇所に集中しないように、庭や散歩等の活動を取り入れて対応しています。落ち着けるスペースも確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		お迎えに行く学校数や下校時間によりフロアの職員配置に変動がある為、こまめに職員間で声を掛け合い対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	12%	63%	民家を借りての活動のため玄関・トイレのバリアフリー化がされていません。必要に応じて職員間で話し合い改善案を出し活動しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	63%	37%		会議の進め方が変わり、以前より多くの職員が業務改善への意見を出せる環境になりつつあります。優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		アンケートの結果・意向に対しての改善策を全職員で話し合って検討しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%			外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	87%	13%		事業所として月に1回開催しています。外部研修の情報も共有し各々参加できるものに参加しスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	62%	38%		丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%		統一のアセスメントシートを使用・活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	62%	38%		職員間で意見を出し合い、チームとしての立案に努めています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	62%	38%		利用者の特性をふまえ固定化しないように、過去の活動や多方面から情報収集し検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	38%	62%		平日と長期休暇では状況は違いますが、長期休暇は過去の活動を振り返り、現在の状況を考慮して検討しています。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	87%	13%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	62%	38%		毎日支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	75%	13%	12%	退勤時間は一定ではないので、全職員が集まってはいませんが、毎日業務日誌を用い利用者の気になる言動や個々の気づきを共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	62%	38%		日々正確に記録をとれるように取り組んでいますが、支援の検証・改善につなげきれていないのが現状です。今後の課題として取り組んでいきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%		半年に一度モニタリングを行わない必要に応じて計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	38%	62%		ガイドラインの理解に差があります。研修等でガイドラインの理解を深めて支援の幅を広げられるように努めます。
	関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	87%	13%		学校との共有事項・連絡は送迎時随時行っていますが、学校により差があるのが課題のため、連携を深められるよう努めていきます。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか		25%	75%	現在該当者はいませんが、受け入れの際は体制を整えられるよう検討します。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			100%	全員分は行われていないのが課題です。今後情報共有に努めていきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			障害福祉サービス事業所に支援内容等の情報を提供しています。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100%	児童発達支援センターと連携は取れていません。より良い連携方法を検討していきます。

の 連 携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12%	13%	75%	機会があれば交流を持てるよう検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	87%	13%		連絡ノートや送迎時に状況を伝え合い、課題の共通理解を心掛けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	13%	75%	12%	ペアレントトレーニング等の支援を行うまでには至っていません。今後専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう学びを深めていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その都度必要に応じて丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	38%	62%		保護者が相談しやすい雰囲気、環境作り、傾聴の姿勢での対応を心掛けています。十分な助言に至らないこともあるので、少しずつスキルを向上させていけるように努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		38%	62%	保護者会の開催はありませんが、保護者同士の交流が持てる場を設けられるよう検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	62%	38%		苦情が入るようなケースはほとんどありませんが、体制は整備されています。日頃から丁寧な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50%	13%	37%	会報の発行について検討しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	75%	25%		個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%		それぞれの状態に合わせた個別対応がとれるよう配慮しています。今後もコミュニケーションスキルが向上できるよう取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	37%		63%	近隣の方とは良好な関係が築けています。風の村さくら秋祭りの際に参加し、地域住民のみなさまと少しでも関わられるようにしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	87%	13%		防犯・災害マニュアルに関しては簡易的なものの用意に留まっており十分とは言えません。今後マニュアルの整備を進めるとともに、それを周知していけるよう努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	87%	13%		年2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	87%	13%		虐待防止委員を選出し、委員が中心となり定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	38%	24%	38%	アレルギーに関しては現在該当者はありません。食事制限のある方に関しては、その都度本人や保護者に確認をとって対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	75%	25%		報告書を作成し全職員で閲覧するとともに、会議の場で必ず共有し、次にかけるようにしています。

2018年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(あかとんぼ下根)

回収数／配布数 : 15／16

回収率 : 94%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%		利用者が多い時は活動場所が狭く感じるため、中庭に出て活動する等、広いスペースを確保できるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	27%	6%	お迎えに行く学校数や下校時間によりフロアの職員配置に変動がある為、こまめに職員間で声を掛け合い対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	27%	60%	13%	民家での活動のため、複数の段差があります。安全を確保するため、すぐに改善できる箇所は速やかに改善しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	47%	53%		会議の進め方が変わり、以前より多くの職員が業務改善への意見が出せる環境になりつつあります。優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	73%	27%		保護者の方からの意見は真摯に受け止め、可能な限り対応できるように検討していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	93%	7%		事業所として月に1回開催しています。外部研修の情報も共有し各々参加できるものに参加しスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	87%	13%		丁寧なアセスメントの実施、アセスメントに沿って計画を作成するように心がけています。また、利用者の成長にもあわせるように作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	73%	20%	7%	統一したアセスメントシートを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%		朝礼や会議の中で職員から意見を出してもらい、チームとして立案に努めています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	47%	53%		活動が固定化しないようにイベント等を組み込んでいます。また、絵本の読み聞かせの時間を設け気持ちを落ち着ける時間になるように心がけています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	73%	27%		日によってバラつきがあるので、より明確なものを打ち出せるよう事前準備等を充実させていきます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	73%	27%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	93%	7%		毎日支援前に職員と打ち合わせを行い、活動の流れ・特記事項や支援内容の確認を行っています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	73%	27%		毎日業務日誌を用い、利用者の気なる言動や個々の気づき等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			毎日正しく記録をとり、支援につなげています。一人ひとり個人差があるため日頃から支援を統一し成長につながるよう努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	73%	27%		半年に1度モニタリングを実施しています。また、計画内容の変更等も必要に応じて時間をかけて行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	47%	53%		ガイドラインの理解に差があり、事業所内で共有しながら理解を深めていく必要性を感じています。今後は理解を深めながら支援の幅を広げていきます。
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	93%	7%		学校によっては連携が弱いところもあるので、どの学校ともより連携を深められるようにしていきます。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	27%	47%	26%	現在該当者はいません。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		現在、就学前に利用していた事業所との情報共有はありませんが、今後よりよい支援を提供できるよう繋がりを強めていきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	該当する機会があれば情報の共有をしています。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			定期的に研修に参加し、支援のスキルや知識の向上に努めています。

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13%	47%	40%	現状は交流を図る機会はありませんが2019年度は、法人内の保育園との交流を考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	87%	13%		日頃から共有をするようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	27%	67%	6%	ペアレント・トレーニング等の支援を行うまでには至っていません。今後専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		100%		基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じてその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%		保護者の方の悩み等の相談に関しては、職員一人ひとりの経験を活かしながら対応するよう心がけています。また、いつでも相談しやすく風通しの良い事業所になるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	54%	13%	年に1回、保護者会を兼ねた大掃除を実施しています。2019年度は保護者会の回数を増やし、保護者同士の交流を深める機会を設ける予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用いただけるよう、日頃から丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33%	60%	7%	ブログを活用し活動内容の報告を行っています。広報誌の発行は来年度から開始予定です。
	35	個人情報に十分に注意しているか	87%	13%		個人情報の取り扱いについては十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	87%	13%		個々に合わせたツールを用いるよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	47%	47%	6%	事業所への招待は難しいですが、普段から色々な面で気にいただき良好な関係を築けています。また、風の村さくら秋祭りに参加し地域住民の方との交流をしています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40%	60%		周知に至っていないものもあるので、今後改めて全てのマニュアルが周知できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	87%	13%		年に2回避難訓練を実施しています。訓練時の様子を書式化し、次回に活かせるようにしています。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	87%	13%		虐待防止委員を選出し、委員が中心となり定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	60%	27%	13%	アレルギーに関しては、その都度保護者や本人に確認を取り対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	80%	20%		報告書を作成し全職員に共有をしています。また、会議の場でも共有をしています。

2018年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(あかとんぼ飯野)

回収数／配布数 : 10／10

回収率 : 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	70%	30%		利用人数の多いときにはスペースが十分でないと感じることがあるので、公園や散歩等の活動を取り入れて対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	40%		基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動があるため、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10%	20%	70%	民家を借りての活動のため、段差や階段があります。階段に手すりを付けたり、活動しやすい環境作りにも努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	90%	10%		会議の進め方が変わり、以前より多くの職員が業務改善への意見を出せる環境になりつつあります。優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者からの意見は真摯に受け止め、今後も可能な限り対応できるよう検討していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			外部評価は実施していませんが、法人内の同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しているため、今後も継続します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所としては月に1回開催しています。その他にも、虐待防止委員会や研修ごとに担当を設置しています。外部研修の情報も共有し、各々参加してスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	90%	10%		統一のアセスメントシートを使用・活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%		会議の中で職員から意見をもらいながら、チームとして立案に努めています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%		固定化されているところもありますが、職員からの新しい意見を取り入れ柔軟な対応ができるように努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	90%	10%		日によって状況が異なるため、より明確なものを打ち出せるように事前準備を充実させていきます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況に合わせて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	70%		30%	退勤時間がまちまちのため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日に話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有できるよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90%	10%		正しく記録をとり、支援に繋げています。ですが、個々に差があるため、統一して支援の改善・検討に繋げていけるよう努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%		モニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	80%	20%		ガイドラインの理解に差があり、日によってもバラつきがあります。会議・研修等でガイドラインの理解を深め、支援の幅を広げていきます。
	関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			特別支援学校との連絡調整は双方から連絡を取り合っています。連携が弱い学校もあることが課題なので、連携を深められるよう努めています。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	80%		20%	現在該当者はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるよう検討します。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行っていないのが課題です。連携の強化に努めていきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	該当する機会があればそのように対応していきたいと思えます。相談支援事業所との連携は密になってきています。

保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			児童発達支援センターと連携をとり、定期的に研修に参加するようにしています。今後より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30%	50%	20%	利用者アンケートにより、当事業所の保護者は障がいのないお子さんとの交流をお望みでない方もいらっしゃる事が分かりました。このことも踏まえたうえで、今後どのような機会を設けていくか検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日頃からこまめに共有するようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	40%	20%	事業所だけでは対応が難しい場合は、学校と連絡を取り合い共有しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう、学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		100%		基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	90%		10%	常に傾聴の姿勢で保護者が相談しやすい雰囲気をつくっています。十分な助言に至らないこともあるので、職員のスキルを向上させていけるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	30%	60%	サポータークラブの廃止後、保護者会がなくなってしまいました。保護者からの要望もあるため、2019年度に交流の場を設けられるよう検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報誌の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	90%	10%		個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%		60%	近隣住人から野菜やお菓子を頂いたり、一緒に道路の雪かきを行う等、良好な関係が築けています。事業所の行事への招待は難しいのですが、風の村さくら秋祭り等に参加し、地域住民のみなさまと少しでも関わられるようにしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			防犯・災害マニュアルに関しては簡易的なものの用意に留まっており、十分とは言えません。今後マニュアル整備を進めるとともに、それを周知していけるよう努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年に2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、委員が中心となり定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	70%	10%	20%	アレルギーに関しては現在該当者はありません。食事制限がある方に関しては、都度本人や保護者に確認をとって対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を全職員で閲覧するとともに、会議の場で必ず共有し、次に活かせるようにしています。

2018年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(あかとんぼ佐倉)

回収数/配布数： 12/12

回答率 : 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	17%	8%	2018年7月に移転し活動場所のスペースが以前より狭くなった為、手狭に感じることはありますが、中庭や近隣スペース等の活用を積極的に行うことで一人ひとりがのびのび過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	92%	8%		基準は満たしていますが、活動内容によっては配置が十分でないと感じることもあります。状況に応じて職員間で連携を取りながら対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	92%	8%		建物自体はバリアフリーになっています。事業所の玄関として使用しているスペースが十分でない為、少しでも有効に使用できるよう整理整頓を心がけています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	33%		会議の進め方が変わり、以前より多くの職員が積極的に業務改善への意見を出せる環境になりつつあります。優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	92%	8%		保護者からいただいた意見は事業所内での共有に限らず内容によっては他事業所にも協力を求めながら改善を進めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページ上にて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所内研修は月に1回開催しています。外部研修の情報も共有し各々参加できるものに参加しスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		ご家族からの情報を中心とした統一のアセスメントシートを使用しています。ツールを活かしきれっていないケースもあるので今後の課題として取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%		職員間で意見を出し合い、様々な視点を持ちながら可能な限り活動の偏りが出ないように心がけています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			特に放課後活動は短時間ということもあり内容が画一的になりがちですが、過去の振り返りや現在の利用者の特性等もふまえながら極力固定化しないような形で検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	58%	42%		きめ細やかな課題の設定が難しいことありますが、それぞれの時間・過ごし方の中でどのようなことができるのか日々検討しながら支援しています。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日支援前ミーティングを行い、担当や特記事項等必要な情報を共有・確認してから支援に臨むようにしています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	67%	33%		退勤時間はまちまちなので全職員が集まる形ではないですが、毎日業務日誌を用い利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	92%	8%		活動中に補助記録用紙も導入しながら正しく記録できるように取り組んでいます。支援の検討や改善まで繋がらないケースもあるので、今後の課題として検討していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			基本的にモニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけ丁寧にを行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50%	50%		ガイドラインの理解に差があり、事業所内で共有しながら理解を深めていく必要性を感じています。活動内容自体はガイドラインに沿ったものを提供しています。
	関係機関や保護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			連携は取れており、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができます。
22		医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	50%	42%	8%	主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りとなっています。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		基本的に中高生対象の事業所の為、就学前に利用していた機関との関わりはほとんどありません。必要に応じて情報共有できる体制を整えています。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			市によっては専用のファイルがあるので、それらも活用しながら必要に応じて情報を提供できる体制を整えています。相談支援事業所との連携は密になってきています。

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ってはありますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		42%	58%	現状機会が持てておらず課題のひとつとして捉えています。どのようにすればかわる機会が持てるのかを検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%		日頃からこまめに状況を共有することができています。今後も継続することで理解を深めていけるように努めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%		ペアレント・トレーニング等の支援を行うまでには至っていません。今後専門性を向上させることで保護者の対応力も向上できるよう学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じてその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作りを心がけ、傾聴の姿勢で対応するようにしています。しかし、十分な助言に至らないこともあるので、少しずつスキルを向上させていけるように努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	75%	25%		保護者会の開催はありませんが、保護者同士の繋がりの場として2018年度は事業所にて大掃除兼懇親会を開催しました。今後も継続して開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情が入るようなケースはほとんどありませんが、体制は整備されています。日頃から丁寧な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%		行事等はその都度お知らせを配布しています。活動内容は月に一度の事業所内広報誌の発行と不定期のブログにて報告する形を取っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			それぞれの状態に合わせた個別対応がとれるよう配慮しています。今後もコミュニケーションスキルが向上できるよう取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	83%	17%		事業所独自で地域に開かれた活動や行事を行うことはできていません。風の村さくら秋祭り等には参加し地域住民のみなさまと少しでもかかわれるようにしています。今後どのような場を創出していけるか検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83%	17%		防犯マニュアルに関しては簡易的なものの用意に留まっており十分とは言えません。今後マニュアル整備を進めるとともに、それを周知していきけるよう努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	92%	8%		施設全体の訓練に加え、6月、11月の年2回事業所単位でも訓練を実施しています。必要な動きの確認や課題等が出ればその都度共有しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を決め、定期的に研修する機会を設け、対応を周知・徹底できるように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100%		やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	75%	17%	8%	現状指示書はいただいておりませんが、保護者から相談等があればその都度対応します。また、服薬の必要がある場合には所定の様式を提出してもらいそれに沿って対応します。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で回覧するとともに会議等の場でその都度共有し次に活かせるようにしています。

2018年度 事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

回収数/配布数: 10/11

回答率 : 91%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%		1つの所に利用者が集中しないようスペース全体を使って活動しています。また、一人になって落ち着けるスペースも確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	70%	30%		平均して2人以上、基準より多く配置し活動しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	30%		車イス使用に対応しており、トイレなども手すりが設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	60%		職場会議にて、支援上・業務上の課題について解決案を決め実行するという形態はとられていますが、長期スパンでの目標設定と振り返りができていないため、その点を意識した職場・会議運営に移行します。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	50%		毎年アンケートを実施しています。保護者の思いに可能な限り添えるよう運営していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人のホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価は実施していませんが、法人内の同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	70%	20%	10%	研修の機会は確保されていますが、必ずしも各職員が希望する内容とは異なるものもあるので、今後は各職員の興味関心にマッチした研修への派遣もより促進します。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	70%	30%		毎年保護者との面談を行い、その際ニーズや課題を伺い、その内容を計画に反映させています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	30%	50%	20%	ご家族からの情報を中心としたアセスメント表を使用していますが、子どもの状況を把握するに十分な表とは言えないため、改善を検討します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10%	60%	30%	活動内容については職場会議等で話し合われますが、プログラム立案に特化した話し合いの場は設けていません。現在、活動内容が集団活動よりも個別支援が中心となっていますので、今後集団活動を増やしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	30%	70%		固定化を避けるために、各職員から活動案を出してもらうなどして実施しています。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	30%	60%	10%	朝礼実施の可能な平日については、日常的に個々の利用者に対する支援上のポイントや全体としてどう過ごすかということを詳細に確認し合って活動しています。ただし、長期休業時の課題については充分把握できているとは言えないため、個々の活動を充実するためにも、長期休業時の課題把握と対応を促進します。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%		活動のバランスとしては個別活動の方の比重が重い感じですが、状況に応じ集団活動を実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	90%	10%		平日は朝礼を行い、支援上の留意点や活動内容等についての確認を行っています。朝礼の実施が困難な休日や長期休暇については支援を行う中で、役割分担や活動内容の共有を図っています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	70%	10%	20%	平日は夕礼を行い、各職員から支援上で感じたことやヒヤリハット等を述べてもらい、必要に応じその内容を支援に生かしています(シフト上、参加できない職員もいます)。実施困難な休日、長期休みについては担当者の記載する業務日誌にて夕礼と同様の内容のものについて共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	70%	30%		日々の記録は徹底されており、必要に応じ、遡り今後の支援を考える上での参考にしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	50%		半年に一度モニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10%	90%		活動内容はガイドラインに沿ったものを提供しています。職員に対しても会議等においてガイドラインの説明を行っていますが、十分に浸透しているとは言えないので、適宜ふれる機会を設けていきます。
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			基本的に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	50%	50%		学校の年間計画や行事予定についてのお手紙を送迎時に直接いただいています。その他保護者を介して、学校と情報共有を図ることもあります。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	60%		医療的ケアの必要な利用者の受け入れは行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			今後の支援に生かすために活動内容や様子について情報をいただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		問合わせがあれば、情報提供するというスタンスで対応しています。

や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		児童発達支援センターとの連携は行っていませんが、発達障害者支援センターについては、毎年ではありませんが、これまで研修を依頼したことが何度かあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	60%	20%	機会は少ないですが、事業所敷地内の別棟にあるこどもカフェに今年度1～2回程行ったり、公園に外出した際に障がいのない子どもとの交流を持っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	昨年度は参加していましたが、今年度については参加できていなかったため、次年度は参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	60%	40%		送迎時に体調や家庭での様子、課題への対応等、その時の状況に応じて情報を共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		50%	50%	職員のスキルを向上させていくことで、今後そのような機会を持っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20%	80%		面談時などにお話する機会がありますが、より信頼してご相談いただけるよう、職員のスキルや人間性の向上に取り組めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	30%	50%	20%	家族交流会を企画しても、参加者が集まらず開催に至らない状況です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	30%		契約時に重要事項説明書等を用いながら苦情窓口の案内をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	40%	40%	20%	会報については現在の所、発行していません。活動内容については、ブログにて発信し、行事等の案内についてはその都度お手紙にてお知らせしています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	70%	30%		施設内部及び外部関連機関とのやりとりにおいて最低限必要な範囲での情報のやり取りを心掛けています。情報漏えいのリスクを避けるため、利用者及び職員情報のすべてにアクセスできる職員を限定しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	50%	50%		基本的には意思の疎通が図れていると思いますが、より理解を深められるよう職員のスキルの向上のため研修等を積極的に受けていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10%	70%	20%	事業所単体では地域住民との交流機会を持っていませんが、複合施設としてはサロンや地域食堂等を開催し、地域住民との交流を行っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	30%	10%	利用者に対して、状況毎の対応方法についてのお手紙を年度初めに配布していますが、より理解いただけるよう、周知方法を工夫します。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	90%	10%		年に2回避難訓練を行っています。複合施設であるため、事業所の垣根を越えた連携を意識して今後も取り組んでいきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	40%		今年度虐待に関する外部研修にスタッフを派遣したり、外部講師を招いての研修を開催しました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100%		身体拘束の対応が必要な方は、ご利用されていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	80%	20%		契約時のアセスメントにおいて保護者に対し食物アレルギーについての確認を行っていますが、医師の指示書はいただけていません。必要に応じ取得します。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	80%	20%		朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のない職員に対しては業務日誌にて周知を図っています。

2018年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(あかとんぼ作草部)

回収数/配布数:7/7

回収率 :100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	85%	15%		100%車椅子の方なので、人数が多くなると狭く感じてしまうため、車椅子を外へ出すなど工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか		100%		7割以上が医療的ケアを必要とする方のため、看護師の配置が厳しい時があります。看護師を獲得し、適正配置を目指します。また、喀痰吸引事業所登録を進めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85%	15%		トイレに手摺がなく、不便な時もあるため、設置を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	58%	42%		日々振り返りと改善をしていますが、目標設定が不明確だと考えられます。年度事業計画の職場内共有を徹底し、計画的に業務改善を進めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	85%	15%		アンケートは年に1度行っていますが、日々感じておられることを会話の中で伝えていただけるような関係性を構築していくよう努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内の同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	72%	14%	14%	研修の機会は多く確保しています。今後は専門性向上に向けて、外部研修を取り入れます。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	72%	28%		相対的に職員のアセスメント力の向上を図ることが必要です。そのための専門知識の獲得を進めます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	42%	58%		標準化されたアセスメントシートは使用していますが、利用者の状況を把握するのに十分とは言えないため、改良を進めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	85%		15%	当日の朝礼にて検討していますが、日によって検討しきれていない時があります。当日ではなく、計画的な活動プログラムの設定について検討を進めます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	42%	42%	16%	医療的ケアや身体介助に時間を取られ、時間内に実施できる活動が固定化される傾向にあります。計画的な活動プログラムの設定について検討を進め、活動の固定化を防ぎます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	42%	42%	16%	長期休暇中は、学校がないため、学校の代わりに身体を整える活動に取り組んでいます。

な 支 援 の 提 供	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			集団活動が少ない点が課題です。次年度は集団活動充実に向け、計画的な活動プログラムを設定します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	85%	15%		朝礼時に打合せをしていますが、その日の支援内容については十分な打合せができていない時もあるため徹底します。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100%			夕礼にて必ず振り返りを行っています。夕礼に出られない職員も、気づきを付箋や日誌等に残すようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			記録は徹底していますが、より改善につなげることのできる記録法を導入している最中です。次年度はこの記録法を全職員で活用します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	72%	28%		モニタリングは実施できていますが、状態が大きく変わった時に、適時計画見直しにつなげられていないケースがあるため、見直しの可否についてケース会議の中で意見交換できるよう努めます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	58%	42%		複数組み合わせられてはいますが、集団活動が弱いため、次年度の課題として取り組みます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			相談支援事業所から担当者会議の要請があったことは一度もありませんが、学校との担当者会議には児童発達支援管理責任者、必要に応じて看護師が参加するなど、適切に対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	85%	15%		学校からの情報提供は広報紙にて受け取ることができています。また、送迎時対応については連絡会に参加し、情報共有できています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	14%	72%	14%	基本的に家族を通じて情報を収集しています。今後は緊急時に直接主治医に連絡を取ることを想定し、緊急時対応マニュアル(一覧表等)を整備します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		家族からの情報に頼っているため、該当する機会があればそのように対応します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		該当する機会があればそのように対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		該当する機会があればそのように対応します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	72%	14%	14%	地域のこどもとの交流の機会は適宜持っているため、今後も継続します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	参加できていないため、機を見て参加します。
28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	72%	28%		送迎時は全職員が分担して情報収集・提供しています。課題については、児童発達支援管理責任者が家族とやり取りし、共通理解を持てるようにしています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14%	72%	14%	ペアレントトレーニングはしていませんが、看護師を中心として家族に専門知識をお伝えしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に実施しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	72%	14%	14%	家族から相談を受けた職員はその場で対応し、必要に応じて事業所内で情報共有の上、事業所として可能な件については対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		28%	72%	2019年3月に開催が決まっています。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85%	15%		苦情として上がってきたことはありませんが、利用者アンケートによると納得できていない事由を抱えている家族がいることが伺えます。日頃のやり取りの中から家族の思いを汲み取り、適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%			ブログや広報紙で情報発信しています。今後はブログ更新をお知らせし、ブログをみていただけるよう工夫します。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			十分に注意しています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	72%	14%	14%	表情や仕草から汲み取る、もしくは絵カード等を用いています。その他の手段についても模索していますが、十分とは言えないため、今後も追求します。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	72%	28%		地域のこどもとの交流の機会は適宜持っていますが、他の世代層の地域住民へのお声掛けができていませんので、来年度に検討します。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	58%	28%	14%	職員に対してはマニュアルを配布・説明し、ご家族には事業所が取る対応についてお手紙を出しています。ただし、利用者アンケートによると周知が不十分と思われるため、周知方法について再検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	85%	15%		訓練は毎年2回実施していますが、非常用すべり台等を使用した訓練は雨天中止となったため、次年度実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	85%		15%	研修機会は確保できています。今後は、特に身体拘束の観点で、具体的な事例を用いながら、現場で起こりうるケースと対応について共有します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			必要に応じて家族に説明の上、計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	42%	29%	29%	医師の指示書はいただいません。家族からの申告に基づき、必要で可能な場合には対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	85%	15%		夕礼にて共有の上、対策を検討できています。今後は、より小さな事由も共有できるよう意識を高めます。